議題3：実践的な災害対策本部設置運用訓練の実施状況について（小牧市提出）

市　名		各市の状況
1	名古屋市	実施している。 ≪実施方法≫ 名古屋市域を含む広い範囲で大規模な地震が発生した疑似環境を想定し、その中でコントローラーから付与される状況に対して、プレーヤーが情報の整理、状況の分析・判断、関係部との連絡調整及び意思決定を行うロールプレイング方式の図上訓練を行っている。
2	豊橋市	本市においては、昨年度、災害情報共有システムを導入し、全庁的に効率的・組織的な災害対応業務の推進を図るとともに、時間経過に合わせて訓練参加者「災害専用電話班」（＝市民からの通報を受け付ける）に対し、想定条件を電話又は紙にて付与し、事案を受け付ける訓練を実施している。訓練においては、その事案に対し、該当する各班（＝各担当部署）に事案対応（90分の訓練時間で想定条件を150用意）を依頼し、報告を受けるといった事案対応を完了させるまでの一連の流れで訓練を実施している。 また、災害対策本部の立ち上げ訓練については、昨年度、発災初動期の迅速な災害対策本部の設置を目的に「災害時アクションカード」を策定するとともに、災害対策本部の設置に係る訓練を実施している。
3	岡崎市	当市では、年度が変わって新体制になった4月に災害対策本部につめてもらう職員を集め、体制の説明、災害対策本部の立ち上げ訓練を行っています。その際にシナリオを想定し簡単な災害対策本部運用訓練を行っています。また、一年に一度の防災訓練で災害対策本部員を集めて、被害報告訓練を行っています。
4	一宮市	一宮市では実施していません。
5	瀬戸市	7月14日（金）、台風を想定した瀬戸市災害対策本部運用訓練を実施予定です。 事前に行う「事前対策訓練」では、大型の台風が愛知県を直撃するコースで接近しているとの想定のもと、各部各班が取り組む事前対策事項について確認をします。 当日に行う「応急対策訓練」では、大型台風の最接近に伴い、市内各所で様々な被害が発生しているとの想定のもと、各部総務チーム及び各班が参加してロールプレイング訓練を行い、各種情報の整理及び集約並びに応急対策活動の流れについて確認をします。
6	半田市	災害対策本部設置運用訓練については、耐震性の劣る旧庁舎時代に他所で実施するなど、状況に応じて繰り返し実施しています。 本年度の総合防災訓練は、発災3日目の朝を想定し3日間の訓練を実施します。 ①発災初日には、職員参集訓練と災害対策本部及びオペレーション室の開設・運営訓練を実施します。 ②2日目には、オペレーション室に状況を付与し、災害対策本部に繋ぐ本格的な運営訓練を実施します。 ③3日目は、引き続き災害対策本部の運営訓練と大量の市職員を投入し、支援物資の受入及び配送、避難所運営、道路啓開訓練を関係団体と連携して実施します。
7	春日井市	当市では、毎年職員を対象とした、防災拠点訓練を実施しております。 市内に9施設ある防災拠点を3つにわけ、3年間で1ローテーションとしております。 内容としては、職員参集訓練をはじめ、支援本部運用訓練、HUG、救急法となっております。 訓練対象職員及び参集日時においては事前に通知しておりますが、当日まで自分の担当やシナリオを知らない状態で参集し、窓口対応や防災行政無線交信等から次々に発生する事象に対して、職員自身が考え判断し、解決していく訓練シナリオ非公開型（ブラインド）訓練として支援本部運用訓練を実施しております。
8	豊川市	実践的な災害対策本部設置運用訓練はここ数年行っておらず、近年は各新任課長対象に、クロスロードゲームを行っている。
9	津島市	当市においても、小牧市同様の災害対応図上訓練を実施しています。

市　名		各市の状況
10	碧南市	実践的な災害対策本部設置運用訓練及び図上訓練は実施できていない。 また、シナリオ非提示型の災害対策本部設置運用訓練は実施検討中です。
11	刈谷市	平成28年度に、ロールプレイング方式の図上訓練を実施しました。 訓練の進行方式としましては、コントローラー役が逐次、時間経過で予想される状況をプレイヤーに付与していきます。 シナリオは南海トラフ地震を想定し、本市のハザードマップ作成時の被害想定を準用しました。時間進行は実時間で実施しました。
12	豊田市	災害発生時に的確に判断、対応を行えるよう職員の能力の維持・向上を図るため、風水害を想定した災害対策本部訓練を概ね毎年6月初旬に行っている。訓練内容は、「状況付与型」による市民等からの情報に対する対応、避難勧告等の発令及び発令地域の選定などである。
13	安城市	平成27年度、平成28年度の総合防災訓練で状況付与型の情報収集訓練を実施しました。時間経過に応じ、被害状況や避難所の状況などが記載された「状況付与カード」を参加者に配布し、ホワイトボードへの記入や様式への取りまとめなどの情報処理を行いました。
14	西尾市	本市では毎年総合防災訓練に合わせて災害対策本部設置運用訓練を実施しております。昨年は各課が考えた被害想定をもとに、西尾市業務継続計画（BCP）に基づく対応を行い、その被害想定や対応状況等をもとに、災害対策本部が大局的に判断し、対応を指示する等の訓練を行いました。 昨年以前の訓練もほぼ同様の訓練であり、一部ブラインド部分はあるものの、ほとんどがシナリオに基づく訓練となっているのが実情です。 ブラインド訓練については、必要性は認めつつも、想定の付与、訓練方法等について、模索しているのが実情です。
15	蒲郡市	実施経験はない。 職員参集訓練や情報伝達訓練においては、訓練内容を事前に示さない一部ブラインド型の訓練を実施したことがある。 災害対策本部の運用訓練においては、ブラインド型訓練を検討したことはないが、リアリティのある訓練として、ブラインド型訓練は有効であると考えているので、災害対策本部の運用訓練を実施する際には、課題となる評価方法などを検討し、部分的にでもブラインド型訓練を取り入れていきたいと考えている。
16	犬山市	実践的な訓練は実施できていない。現状は、各部局ごとの災害時に想定される業務を、確認する程度にとどまっている。
17	常滑市	平成26年度に、消防庁の市町村災害対応支援事業を活用し、ブラインドでの図上訓練を実施。
18	江南市	本市では、毎年総合防災訓練を実施しており、その中で対策本部設置訓練に取り組んでいます。
19	小牧市	本市では実践的な災害対策本部設置運営訓練は実施できていない。 毎年1月下旬実施している図上訓練は、係長職以下の職員を対象に、1グループあたり5～6人としてグループワークを行うといったもの。内容は、大規模災害が発生したときに自身がおかれた状況を参加者に付与して、どのような対応をとるのかといったことを話しあい、発表しあうという内容に留まっている現状にある。
20	稲沢市	必要性は感じていますが、実施に至っていない状況です。
21	新城市	数年間、図上訓練の実績はありません。

市　名		各市の状況
22	東海市	平成29年1月17日（火）の早朝に、南海トラフ地震を想定した、職員参集訓練を実施いたしました。 この訓練の大まかな内容について、市内在住者は徒歩、自転車又は自動二輪で参集、市外在住者は、原則、公共交通機関を利用して参集（ただし、市役所の最寄り駅である太田川駅は使えない。）し、①参集者受付、②災害対策本部（201会議室）の開設訓練、③被害情報の伝達及び集約訓練、④本部員会議資料の作成訓練、⑤本部員会議の運営訓練を行ったものです。 このうち、「③被害情報の伝達及び集約訓練」について、具体的に申し上げます。 各地域の被害情報を記した「被害情報付与カード」（防災危機管理課の職員で作成。）を持った東海消防署員が、当日の朝、職員が通りそうな9箇所の交差点に立ち、その交差点を通過する職員は、消防署員から被害情報付与カードを受け取り、職場に着いた後、カードに書かれている被害を②の201会議室へ連絡するというものです。 ②の開設訓練は、市内の職員で、大規模災害時に庁舎へ集合する者を指名しており、その職員が、災害対策本部の開設及び参集した職員から寄せられる情報の集約を実施いたしました。
23	大府市	本市では、小牧市のような図上訓練は実施しておりません。
24	知多市	災害対策本部の設置訓練は、毎年1回、本市総合防災訓練の際に行っておりますが、災害対策本部の設置・運用に係る図上訓練は、ここ数年、行っていません。 以前実施した地震災害時の図上訓練については、下記のとおりです。 ・訓練目的、内容 訓練参加者は、時間経過とともに訓練統括者から付与される状況をもとに、情報の分析、判断及び意思決定を行い、的確に行動できるか、他班との連携・伝達等がスムーズにできるか等の確認を行い、災害時におけ対応力の向上を図る。 ・訓練参加者 各課（班）から1名、災害対策本部事務局として防災担当課職員数名及び各部からの要員1名、合計約60名が参加。
25	知立市	水防訓練や総合防災訓練にて災害対策本部用の訓練は行っていますが、実践的（図上訓練等）な訓練は実施できていない状況です。
26	尾張旭市	本市では、平成27年度に状況付与型の災害対策本部運用訓練を実施しました。訓練の内容としましては、 1　災害対策本部を設置（机・椅子・資機材等の設営）する。 2　災害対策本部事務局が各班（情報・計画・広報・統括）に分かれ、被害状況を示した情報シートを付与し、内容を確認しながら対応等を検討する。また災害対策本部員会議で報告する資料を作成する。 3　災害対策本部長（市長）以下幹部職員で構成される災害対策本部員会議を開催し、各班から報告された情報を共有して具体的対応を決定する。 というものです。 本訓練を実施したことにより、職員個々の災害対応スキルが不足していることが分かったため、平成28年度からは職員を対象とした災害対応に関する研修（状況予測型図上訓練）を階層別実施する等、職員の災害対応基礎力向上に努めることとしています。
27	高浜市	高浜市は今年度職員向けの訓練を実施しています。あらかじめタイムラインを作成し、一部の関係者にのみ内容を伝え、その他職員等には内容を伏せた状態で実施しました。参加者へのタイムライン上の状況の付与については、館内放送を使用して口頭で伝える方法を採りました。
28	岩倉市	図上訓練については実施していない。
29	豊明市	当市では、平成24年度に災害対策本部設置運用訓練を実施しました。その後、災害対策本部設置等の訓練は実施していない状況です。今年度、災害対策本部運用マニュアルを策定し、ブラインドによる災害対策本部設置運用訓練を実施し、災害対応能力の向上を図りたいと考えていますので、本会議で出たご意見を参考にさせていただきます。

市　名		各市の状況
30	日進市	本市では現在、災害対策本部設置運用の図上訓練は行っておりませんが、職員向け訓練を充実させていくため、今後、実施について検討対象となると考えています。
31	田原市	平成25年度に実施して以来実施していませんが、当時の訓練においては、実際に巨大地震の発生を想定し、市内で甚大な被害が発生している状況を想定し、災害発生から初動3時間におけるリアルタイムな災害対策本部運営訓練を実施した。 訓練では、コントローラー2名をおき、1名は各部本部からの指示を受け実施報告、もう1名は関係機関・気象情報等を本部事務局に明示する役を担った。 訓練後の参加者へのアンケートでは、「情報伝達方法・初動体制についての理解」は6割超が「できた」「概ねできた」と回答し、「災害時における初動体制を理解できたか」の項目については8割を超える参加者が「できた」「概ねできた」と回答、「自分自身のスキル向上」については全員が「繋がった」「概ねつながった」と回答を得た。
32	愛西市	平成26年度、27年度で風水害で3回、災害対策本部の立上げ、情報収集と処理、本部員会議の訓練をシナリオで行った。27年度には、ブラインド方式で地震災害で状況付与し情報処理、本部員会議訓練を行ったが、防災担当職員で企画運営したため、訓練参加者があまり理解できなかった。28年度には、業者委託により、災害対策本部総括部職員に対して、地震災害時の災害対策本部総括部の活動(情報収集・情報処理・被害見積り・運用案の作成等)についてブラインド方式で訓練を行った。 訓練後、振り返りと発表を行い、問題点等について総括部で共有するため委託業者からの評価・講評をもらい、意識の向上を図った。又、後日、訓練当日の見取りをしていた委託業者とは別の外部講師により、各班ごとで主要な業務・問題点等の洗い出しについてのワークショップを行い、総括部内で意見交換・情報共有を図った。
33	清須市	本年度、初めて災害対策本部設置運用訓練を実施した。 訓練方法は、ブラインドで時系列に沿って想定状況付与していくものであったが、本市においても課題が多く残る結果となったため、他市町村様の状況を参考にさせていただきたい。
34	北名古屋市	平成28年度北名古屋市総合防災訓練において、災害対応の指揮機能をブラインド化し、実際の災害に即した総合防災訓練を実施しました。 実施に際しては、プレイヤーとコントローラーに分け、状況付与計画に基づき災害対策本部勤務者に状況を付与し、災害対応活動を訓練しました。 災害対応の指揮・報告・通報は、防災行政無線デジタル移動系無線機・携帯電話及び庁舎用の内線電話により行いました。 本訓練の狙いとして、災害対策本部室においては、現場の災害状況を把握することが非常に困難であるため、現場の状況を正確かつ迅速に災害対策本部に報告できるか、また、その災害に対して、いかに効果的かつ効率的な災害対策本部の運用ができるかを検証しました。
35	弥富市	平成27年度に職員防災訓練の一環としておこないました。29年度以降に関しましてはBCP策定に併せた訓練内容を検討しております。実施した訓練の内容に関しましては、各課から代表者を選出していただき、各対応班に条件を付与していくかたちで行いました。
36	みよし市	本市におきましても、昨年度策定した業務継続計画（BCP）等に基づく、実践的な災害対策本部設置運用訓練を本年度実施したいと考えておりますが、過去の実績はありません。 他市の実施方法を参考にさせていただきたいと考えています。
37	あま市	本市では、平成28年度から災害対策本部運用訓練を実施しておりますが、小牧市と同様に事前に状況を付与しており、発災時における即応力の育成ができておらず、運用のイメージができておりません。本年度も災害対策本部訓練を実施する予定でありますが、災害発生時をイメージした訓練方法を模索しております。
38	長久手市	平成28年3月11日に、「長久手市災害初動ガイドライン確認訓練」として実施した。 訓練の統制を自衛隊に依頼し、ブラインドの指示書に対する回答を各担当において作成し、回答を首長へ報告する一連の流れの確認を行った。